

特集 「SAU+建築作品展レポート」

去る6月21日(木)～24日(日)まで、仙台市青葉区の仙台メディアテークにおいてSAU+結成10周年記念イベント『SAU+建築作品展2012・東北の住宅が変わる』に参加させていただきました。7組の建築家がそれぞれ3.6m×3.6mのスペースの中で特徴あるインスタレーションを展開し、住宅に対する考えや、これまで手がけた住宅作品の展示を行いました。4日間で約2,000人のお客様にご来場いただき、震災後の住宅のあるべき姿・建築家が担う地域とのつながり・建築家との家づくりの優位性についてプレゼンテーションさせていただきました。初めての参加で、準備中も開催中も要領がわからず戸惑うことも多かったのですが、何らかの形で住宅に関心のある方々とたくさん会話もでき、また仙台で活躍する有力建築家と相まみえることで、あらためて自分の立ち位置を確認できた気もします。ご来場いただいた皆様、ご協賛いただいた皆様、SAU+メンバーに心より感謝申し上げます。



加藤一成ブース。白を基調にシンプルなインスタレーションとしました。



テントの色から全体をイメージし、白模型などリアルな素材感を消し浮遊感を高めました。



床がもっと白ければよかったかもしれません。「これまで・現在・これから」がテーマでした。



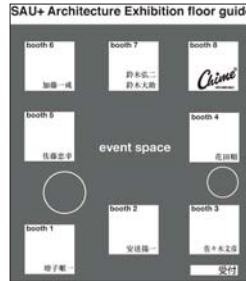
佐藤忠幸氏ブース
段ボールの箱を使った視覚的に立体感のある展示。



安達揚一氏ブース
分厚い発泡スチロールの壁。小さな家の提案。



増子順一氏ブース
フレームとフラワーアレンジメント。花のある暮らしの提案。



佐々木文彦氏ブース
実際に被災した建築家。丁寧に過去の仕事を振り返ります。



鈴木弘二・大助氏ブース
実物の素材やパーツを持ち込み、リアルな暮らしの提案。



花田順氏ブース
新しいディスプレイ手法。進行プロジェクトの展示。

会場レイアウト。
仙台メディアテーク、1階オープンスクエア。22日(金)の夜にはPecha Kucha Nightも開催されました。クライン・ダイサム・アーキテクトによって2003年から始まり、現在は全世界526会場で開催されています。

<http://www.pecha-kucha.org/>

MEDIA



住宅雑誌リプラン東北版2012年夏秋号に、青葉のUd-Houseが掲載されました。「巻頭特集 Kitchen+」
"Kitchen+ユニバーサル・デザイン 日々の暮らしの中での機能性を追求"とご紹介いただきました。



住宅雑誌リプラン東北版2012年夏秋号に、宮城野 Sk-house Remodelingが掲載されました。「Reform Report」
"ライフスタイルを尊重した快適なリノベーション空間。閉鎖的に仕切られた間取りを開放的かつつろぎのわが家に"とご紹介いただきました。



日本電気硝子広報誌GlaciaWEB版に、Ks-Houseが掲載されました。
"懐かしさのある明るい吹抜け空間が家族のコミュニケーションを育む家"とご紹介いただきました。

スタッフの日常・非日常 vol.51



暫定オープンした新県立美術館を見に行きました。見所はやはり2階のラウンジスペース。フラットな水盤越しにお堀と向こうの景色が見渡せます。横長のガラスはあえて高さ1.82mくらいで押さえられており、座った時にちょうど良く見えるように計算されています。



藤田嗣治の巨大絵の見せ方は旧美術館の方が壮大に見えるかなと思いました。というかあの建築も結構良いと思うのですが、設計者は調べても分かりませんでした。まだ見ていない方は取り壊される前に是非見に行かれることをおすすめします。ナナイチでイベントが行なわれており、かなりの賑わい。みんな言っていますが、これで中心部が活性化してくれると楽しいです。打倒イオン！

今月のマテリアル



スプルス

マツ科の樹種です。以前取り上げた「米ヒバ」「シナ」等と同じく、白く平滑な木目が特徴です。軽くて柔らかく、加工が容易なので、室内の造作によく使います。特にルーバーを良く作りますが、米ヒバより耐久性が弱いため、屋外は米ヒバ、室内はスプルスというふうに使っています。半透明の白を塗って、木目を出しつつ明るい雰囲気を作ったりします。

編集後記

みなさん、こんにちは。
東北では、先週・今週あたりが夏祭りのピークを迎えています。あちこち走り回ってれば、いろいろなお祭りも見られそうなのですが、逆にちょうどその時期そこにはないという事もあり、今年は仙台の七夕を見る事ができませんでした。さて、相変わらず50層の激痛に耐えつつ...ロンドンオリンピックも終盤になってきました。4年に1度のスポーツの祭典。4年後の子供たちの姿は想像できないのですが、あっと言う間にやってくる。連日の熱戦で何を見てもその競技の面白さがあり、TVはオリンピックばかり見えています。一部不振の種目もありますが、日本も含めアジア勢の台頭も凄いですね。競泳などで欧米と対等に戦って考えられなかったです。水泳ニッポンとか体操ニッポンとか、復活するお家芸もあれば、危機的なお家芸もあり。いつまでも同じじゃないなあ、と感傷に耽りながら見入ってます(笑)
今日現在、メダルをかけて勝ち残っている注目の競技もあり最後まで目が離せません。オリンピックのフィニッシュとともにお盆休みに突入という感じですね(笑)
それでは、次回もお楽しみに。皆様、よいお休みを。



8月5日(日)石巻ブログでは違う写真を使いましたが、これも同じ日の石巻。最近がれき処理のニュースを多く見聞しますが、未だにこのような現実がいたるところにあります。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所
TEL. 022-739-8931 018-831-4315
FAX. 022-739-8932 018-831-4316
HP. <http://www.issei-design.com/>
BLOG. <http://www.issei-design.com/blog/>
MAIL. info@issei-design.com